

平成30年度

事業計画書

社会福祉法人 登別千寿会

目 次

1. 法人 基本方針	1
2. 特別養護老人ホーム緑風園 事業計画	1
3. デイサービスセンター緑風園 事業計画	1～2
4. 緑風園居宅介護支援事業所 事業計画	2
5. 緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里 事業計画	2
<<部門別事業計画案>>	
事務管理部門	3
業務係	4
看護	5
施設ケア係	6
給食	7
通所	8
居宅介護	9
ニナルカの里 業務係	10
ニナルカの里 看護係	11
ニナルカの里 施設ケア係	12

1. 法人 基本方針

『人間愛』を基調とした処遇に徹し、利用者の人格を尊重し、より家庭的な雰囲気の中で自由に生活することをモットーに、全職員一体となり“明るく健康的で、生き甲斐のある豊かな生活”の為、精神的ニーズの把握に努め、個々の特性をよく理解し、豊かな人間関係をすすめる処遇向上に努める。

2. 特別養護老人ホーム緑風園 事業計画

◎介護老人福祉施設 定員：100名

◎(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：12名

【事業方針】

少子高齢化の進行による労働者人口の減少、福祉系学校の生徒数の減少等の影響により、人材確保が益々困難になっている中、職員確保の強化がより一層重要であり、多様な施設広報活動の取り組みを進めていきます。

特養の入所者が原則要介護3以上であり、入所者の認知症や介護の重度化が進み、入所者確保がより困難になってきており、迅速な入所者確保に努め、協力病院である三愛病院との連携により、入所者の体調管理や感染症対策、看取り介護に積極的に取り組みます。

ショートステイ（(介護予防)短期入所生活介護）に関しては、登別市の利用者のみならず、隣接自治体である白老町の利用者の利用拡大に努め、1日平均の利用者7名を目指し、取り組んでいきます。

また、施設開設から35年、増築から19年が経過し、設備の老朽化進んできているので、計画的な改修・更新を行い、防災・災害対策にも積極的に取り組み、利用者が安心して楽しく暮らせる施設を目指します。

<<各部門事業計画案>>3～7ページ参照

『今年度目標』

- ・施設ホームページのリニューアルとfacebookページの活用による職員募集とPR活動の強化
- ・空床による新規入所者の受け入れを10日以内に行うようにする
- ・ショートステイの1日平均利用者数7名と月の新規利用者2名を目標とする

3. デイサービスセンター緑風園 事業計画

◎地域密着型通所介護 定員：18名

◎通所型サービスA 定員：7名

【事業方針】

平成30年4月の登別市介護予防・日常生活支援総合事業の開始により、要支援者の通所介護が「通所型サービスA」に移行することに伴い、通所型サービスAの利用定員を1日7名と定め、地域密着型通所介護の利用定員1日18名と合わせ25名の利用者へのサービス提供に努めます。

平成30年度介護報酬改定に伴い通所介護のサービス提供時間の区分が5時間以上7時間未満の2時間区切りから、5時間以上6時間未満の1時間区切りに変更になることから、送迎時間や送迎ルート、サービスの提供内容の見直しを行い、6時間以上7時間未満のサービス提供体制を目指す。

また、地域住民・町内会等へのデイ体験会・見学会を開催し、広報活動に努めます。

<<部門事業計画案>>8ページ参照

『今年度目標』

- ・1日の地域密着型通所介護利用人数15名と通所型サービスA利用人数4名の計19名の利用を目指す。
- ・春と秋に近隣町内会への体験会・見学会を開催し、サービスの広報活動に努めます。

4. 緑風園居宅介護支援事業所 事業計画

【事業方針】

平成30年4月に登別市千歳町に開設する緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里内に居宅介護支援事業所を移転することにより、関係市町村・地域包括支援センター及び指定居宅介護サービス事業所との連携がよりスムーズになることが予想されるので、連携強化を図っていきます。

また、職員を増員し、2名体制となることから、利用者の受入数を拡大し、幅広いサービス提供へと努めていきます。

<<部門事業計画案>>9ページ参照

『今年度目標』

- ・月の新規受け入れ数3件以上を目標とする。
- ・各研修会への参加・関係機関とのネットワーク構築を積極的に図り、支援者としてのスキル向上を図る

5. 緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里 事業計画

◎ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 定員：29名

◎ユニット型(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：11名(内、緊急ショート1名)

【事業方針】

登別市初の地域密着型の特別養護老人ホームとして、緑風園で培った経験と知識を活用し、『住み慣れた地域で、心をつなぎ、共に楽しく生きる。もう一つの我が家を目指します。』を施設理念に掲げ、施設においても自宅での生活を継続できる施設作りに努めていきます。






ショートステイ事業は、介護者の急病や冠婚葬祭などによる急な利用に対応できる緊急ショートステイ専用ベッドを1室用意し、迅速な対応が出来る環境を整え、幌別地区という立地を活用し、新規利用者拡大に努めます。

施設内に『地域交流スペース(介護予防拠点)』を設けており、地域町内会や地域住民が自由に利用できる環境を整え、認知症カフェや介護予防教室などの開催により、開かれた施設を目指します。

<<各部門事業計画案>>10～12参照

『今年度目標』

- ・5月中旬までに29名満床にし、空床が出来た際には10日以内の受け入れを目指す。
- ・ショートステイの1日平均利用者5名を目標とし、緊急ショートの積極的な受け入れを行う
- ・入居者を敬い丁寧な対応で『我が家』のように安心して生活できる施設作りを目指す。

施設長	副施設長	責任者	合 議	合 議
				

平成30年度(上半期) 部門(事務管理) 事業計画案

責任者氏名：小林 寛

1. 基本方針

各事業サービスの運営・人事管理を適切に行う。

2. 本年度目標

- ・ 緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里の開設に伴う本体施設との運営・人事管理の連携基盤整備と業務効率化
- ・ 施設ホームページ及び施設 facebook ページによる職員募集の強化

3. 役割分担

- ・ 緑風園職員(事務係・管理係)とニナルカの里職員(事務係)とで業務分担の整理を行う。
- ・ ニナルカの里の設備管理・営繕に関しては、ニナルカの里の職員と共同で行う。
- ・ 本体施設(緑風園)の職員が中心となり、職員欠如の際の迅速な補充を目指し、SNS等の活用を促進し、施設の広報活動を行う。

施設長	副施設長	責任者
		

平成30年度（上半期） 部門（ 業務係 ） 事業計画案

責任者氏名：奥山 繁

1. 基本方針

- ・生きがいのある生活、残存機能維持のための個別ケアプラン策定とサービスの提供
- ・地域や家族、他事業所等との結びつきの強化
- ・利用者・家族の不安・不満・疑問を聞き改善に向けて取り組む
- ・指定居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携を図り、緊急時必要時に適切なショートステイを提供する

2. 目標

《特養》

空床をできる限り作らない様、新規入所者は10日以内に入所するように調整する。

平均介護度 4.0、認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ

苦情件数 0 件

施設スタッフや他機関との情報交換・共有をする

常に丁寧な言葉づかいをする

《ショート》

延べ利用人数 1日平均 7名利用、1カ月平均 210名、半年平均 1260名

新規利用者の拡大

苦情件数 0 件

常に丁寧な言葉づかいをする

3. 役割分担

奥山：・相談業務全般


- ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
- ・申込状況把握・調整、入退園手続き
- ・いつでも気持ちのいい挨拶・言葉づかいに努める

所：・相談業務全般

- ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
- ・申込状況把握・調整、入退園手続き
- ・いつでも気持ちのいい挨拶・言葉づかいに努める

宮腰：・相談業務全般

- ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
- ・ショート全般の業務
- ・行事全般調整
- ・いつでも気持ちのいい挨拶・言葉づかいに努める

施設長	副施設長	責任者
		

平成 30 年度（上半期） 部門（ 看護 ）事業計画案

責任者氏名：篠崎 修平

1.基本方針

利用者の体調管理を的確に行い、医師と連携を図り早期発見、早期対応に努めます。

2.本年度目標

利用者の健康状態に注意し、他職種と連携による健康管理努めるほか、協力病院（三愛病院）との連携により利用者の健康管理に努める。

3.役割分担

- ・ご利用者様の状態の変化に対しては、家族に連絡の上、適切に対応します。
- ・必要に応じて速やかに医師に連絡を取る等必要な措置を講じます。
- ・状態観察の徹底

施設長	副施設長	責任者
小 田	永 山	中 村

平成30年度（上半期） 部門（施設ケア係）事業計画案

責任者氏名：中村 代美

1. 基本方針

利用者が安心して楽しく暮らせるように、安全な環境と空間づくり、
利用者のニーズに応えるケア、サービス提供を行うためスタッフの専門性を高める。

2. 本年度目標

明るく挨拶と丁寧な対応で利用者が安心して生活できる環境を作ります。
明るい笑顔と行き届いた気配りの対応で介護事故を防ぐよう努めます。

3. 役割分担

他部門と密に相談、連携を図りケアの質向上に努めます。
利用者やご家族の思いに寄り添い、安心・快適に暮らせることを大切にした
生活環境に配慮します。
定期的にユニット会議を開催します。ケアの質向上・事故防止の対策検討・
業務内容の確認、見直しに努めます。

施設長	副施設長	責任者
		

平成 30 年度（上半期） 部門（給食）事業計画案

責任者氏名：石川 真弓

1. 基本方針

日々の関わりを通して一人ひとりの栄養状態、身体状況、嗜好等を把握し、それに基づいた栄養ケア計画書の作成を行う。

2. 本年度目標

- ・他職種との意見交換を円滑に行い、栄養状態の維持・改善を図る。
- ・食事委託業者と連携をとり、おいしく、安全な食事を提供し、利用者さんの食事の楽しみと療養の両面から支えていく。

3. 役割分担

- ・厨房内衛生管理を徹底し、安全でおいしい食事を提供する。
- ・年齢構成に合わせた食事を提供できるよう献立を見直し、個々の体調や身体状況に適した食事形態の食事を提供する。
- ・行事食や日々の食事を調整し、少数意見の要望も献立に反映できるよう検討する。
- ・十分なトレイチェックの時間を確保できるよう業務内容を見直し、誤配 0 件を目指す。

施設長	副施設長	責任者
小田	永山	瀬尾

平成 30 年度（上半期） 部門（ 通所 ） 事業計画案

責任者氏名：瀬尾 一弘

1. 基本方針


- 1) 利用者の尊厳の保持
- 2) バイスティック 7 原則の徹底
- 3) 自己のスキルアップや利用者様の生活全般について、どのような課題、ニーズがあるのか発見した上で、QOL を高める為の介護方法を提供できるよう、各々が勉強や資格取得に取り組む。
- 4) 専門性の見地と連携強化＝アウトリーチによる在宅支援、地域ケアの基礎作り
- 5) 専門性の見地と連携強化＝責任的力量的強化

2. 本年度目標

要介護利用者の利用に重点を置き、要支援者の利用も行いながら、定員 18 名の地域密着型通所介護の運営を行う為、利用回数増など利用回転率を上げ、一日利用者人数を 15 名の出席を目指す。

3. 役割分担

- 1) 介護職・看護職・相談員の役割意識を明確にし、デイサービスの収益や、現状の業務について理解を深めていく。
- 2) 重度化に対応できる職員の育成と医療、介護知識の強化
 - ・医療は看護師を中心に
 - ・介護はケアワーカーを中心に
 - ・相談援助、運営はソーシャルワーカーを中心に

施設長	副施設長	責任者
		

平成 30 年度(上半期) 部門 (居宅介護支援) 事業計画案

責任者氏名：津村 祥子

1. 基本方針


- ① 効果的かつ実現可能な質の高い居宅サービス計画の作成。
- ② 医療との連携及び多職種協働の実践。
- ③ 関係市町村・地域包括支援センター及び指定居宅サービス事業所等との連携。

2. 本年度目標

- ① 職員増員につき、月の新規受け入れ数 3 件以上を目標とする。
- ② 各研修会への参加・関係機関とのネットワーク構築を積極的に図り、支援者としてのスキルを向上する。

3. 役割分担

- ① 千寿会関係事業所との連携。
- ② 事業所内において相談し合える体制の構築。
- ③ 効率よく稼働できる体制の構築。

施設長	副施設長	責任者
		

平成30年度（上半期） 部門（ ニナルカの里 業務係 ）事業計画案

責任者氏名：斉藤厚

1. 基本方針

- ・その人個人に合った、個別性のあるサービス計画の策定
- ・入居者が営んでいた生活を尊重する施設づくり

2. 目標

《特養》

5月中旬までに満床

空床が出来た際は10日以内に新規受け入れる

苦情件数0件

施設スタッフや他機関との情報交換・共有をする

常に丁寧な言葉づかいをする

《ショート》

5月中旬より開始




1日延べ平均利用5名

新規利用者の確保

苦情件数0件

3. 役割分担

- ・相談業務全般
- ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
- ・申込状況把握・調整、入退園手続き
- ・地域、他事業所、病院、地域包括支援センターとの連携を図り、緊急時等適切なショートステイを提供する

施設長	副施設長	責任者
		

平成 30 年度（上半期） 部門（ニナルカの里 看護係）事業計画案

責任者氏名：宮崎 多恵子

1.基本方針

利用者の体調管理を的確に行い、医師と連記を図り快適な生活を送れるように努めます。

2.本年度目標

- ・接遇マナーの向上に努め、利用者の個人の生活を尊重し、身体的・精神的に安定した生活を送れるように努めます。
- ・利用者お一人おひとりがニーズに沿った生活を送れるよう関係職種と連携を図り、日常生活の中から状況の変化を的確に見極め、疾病の早期発見・対応に努めます。

3.役割分担

- ・利用者の体調管理を行い、医師へ的確に報告し診療補助を行う。
- ・対応できる医療についてご家族に説明を行い、ご理解して頂けるよう努める。
- ・利用者の状態について、介護職員が理解できるよう説明・助言を行い介護不安の軽減につなげていく。

施設長	副施設長	ユニットリーダー	ユニットリーダー
(印)	(印)	(印)	(印)

平成30年度（上半期） 部門（ ニナルカの里 施設ケア係 ） 事業計画案

ユニットリーダー氏名：田中 由美子、今井 雅樹

1. 基本方針

ユニットケアの理解・個別介助の専門知識の向上を図り、入居者のニーズを真摯に受け止め、施設においても自宅での生活を継続できる為の仕組み作りに取り組む。

2. 本年度目標

- ・施設理念の把握と理解に努めます。
- ・入居者を敬い丁寧な対応で『我が家』のように安心して生活できる環境を作ります。

3. 役割分担

- ・他部門と密に相談、連携を図りケアの質向上に努めます。
- ・地域に根ざし開かれた施設で自宅としての環境を整え、入居者やご家族と心をつなぎ、楽しく穏やかな生活が送れるように努めます。
- ・定期的にユニット会議、勉強会を開催しスタッフの専門性の向上に努めます。